

平成28年度 第1回檜葉町原子力施設監視委員会 開催報告

- 7月1日（金）、平成28年度第1回檜葉町原子力施設監視委員会が開催されました。平成26年度に設置された当委員会は、今年度も引き続き、福島第一原子力発電所の廃炉作業や福島第二原子力発電所の冷温停止作業が、安全かつ着実に行われているかなどを検証し、町民の安心につなげることを目的として活動します。
- 今年度第1回目となる今回は、松本哲男委員長の任期満了に伴う退任を受けて、新たに岡嶋成晃氏（日本原子力研究開発機構 原子力科学研究部門副部門長 兼原子力基礎工学研究センター長）が委員長に指名されました。松本氏には引き続き、本会の副委員長としてご指導いただきます。
- 委員会冒頭、松本町長から、「帰町目標（平成29年春）が近づき、原子力発電所の廃炉作業の進捗等に対する町民の関心は高く、より丁寧にわかりやすく伝えることが町民の理解を得るうえで重要となっている。委員会では、町民が安心して暮らせる檜葉町となるよう、専門的な立場から議論してほしい。」とあいさつがありました。また、岡嶋委員長は、「町民の安全に資するよう、町民目線であるべくわかりやすく伝えていきたい。」と述べました。

檜葉町原子力施設監視委員会 委員名簿
(敬称略、五十音順)

氏名	所属【専門】
石田順一郎	(国研)日本原子力研究開発機構 福島環境安全センター 上席嘱託 【放射線防護】
大越 実	(国研)日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所バックエンド技術部 次長 【放射性廃棄物処理】
岡嶋 成晃 (委員長)	(国研)日本原子力研究開発機構 原子力科学研究部門副部門長・ 原子力基礎工学研究センター長 【原子力工学】
原 猛也	(公財)海洋生物環境研究所 中央研究所 コーディネーター 【水産資源学】
松本 哲男 (副委員長)	東京都市大学 名誉教授 【原子力安全工学】

平成28年度の委員会活動予定

	開催日時	主な内容
第1回	平成28年7月1日（金）	* 今年度の進め方確認 * 論点の再整理について検討
第2回	平成28年9月5日（月）	* 福島第二原子力発電所 視察 * 第3回委員会 防災訓練視察での確認事項検討
第3回	平成28年10月22日（土）	* 県原子力総合防災訓練 視察
第4回	平成28年12月6日（火）	* 福島第一原子力発電所 視察
第5回	平成29年2月13日（月）	* 県原子力総合防災訓練の結果確認 * 国、県、町の防災体制について確認



委員会開催風景

第1回委員会の内容については、裏面をご覧ください

第1回委員会では、今年度の「委員会の進め方」「委員会で確認・評価する事項（論点）」について確認・検討しました。議論の結果、決まったことは次のとおりです。

【今年度の進め方】

基本方針

- ① 福島第一・第二原子力発電所の両方について、従来と同様に、事業者等からの情報提供を受けるとともに現地視察を行い、**町民の立場に立った**状況確認・評価を行う。
- ② 町の復興計画で、避難指示解除から帰町目標（平成29年3月）の間を「帰町期」とされていることを踏まえ、**従来より詳細に町の防災対応**（事故・トラブル等が発生した際の対応に関する計画、訓練状況等）について、状況確認・評価を行う。
- ③ 町民に向け、委員会の活動報告について、**より頻繁・積極的に情報発信**する。

★今年度は、委員会開催ごとに本紙のような開催報告を作成し、町広報紙とともに町民の皆様にお届けします★

【今年度の委員会で確認・評価する事項（論点）】

帰町や、廃炉、汚染水対策の進捗など原子力発電所における各種作業の進展に合わせて、次のような観点で新たに論点を再整理しました。

- 町民（特に、すでに帰町している方や、今後帰町することを考えている方）が、「**自分たちに影響があるのでは？**」と**不安を感じることを中心に扱う**。
- 特に、次のような事項については、できるだけ具体的に現状を確認し、専門家の視点から「どの程度リスクがあるのか、対策は十分なのか」などの評価を行う。
 - **今後数年間に予定されている作業（廃炉作業など）で起こり得る事態**への対応
 - **大規模自然災害（巨大地震・津波、巨大台風、豪雨等）などの“外部要因”で起こり得る激甚災害等**への対応
 - その他、設備トラブルや作業ミスなどで起こり得る事態への対応

具体的には、右のような項目を論点（案）としました。

*印：福島第一・第二原子力発電所の両方に共通する論点

今年度の論点（案）《概要》

福島第二原子力発電所：第2回委員会（視察）での論点

- 核燃料について（使用済燃料プールの核燃料の冷却方法 など）
- 防災対策・体制について（地震、津波、その他自然災害（台風による大雨、竜巻など）に対する対策の進捗状況 など）
- 作業員のモチベーション維持・向上方策について
- 原子力規制庁による保安検査・保安調査について*
- 作業安全について（新たに発生した事故・トラブルはあるか。その概要、原因（特に、安全文化に関わる根本原因）とその対策 など）*
- 作業品質の維持・向上方策について（ベテラン作業員の確保、新入作業員の教育 など）*
- テロ・妨害破壊行為に対する対策について（必要に応じて確認）*

福島第一原子力発電所：第4回委員会（視察）での論点

- 核燃料について（1～3号機の燃料デブリや使用済燃料等の状況 など）
- 建屋カバー解体について（建屋カバー解体時に想定されるリスク・課題とその対策 など）
- 汚染水・処理水の対策・管理状況について
- 廃棄物等の対策について
- 防災対策・体制について（建屋の耐震性確保、大規模な津波への対策 など）

国・県・町の防災対策：第5回委員会での論点

- 県原子力総合防災訓練で確認された事項、得られた教訓等について（訓練では、住民等が適切な行動をとれるよう、円滑かつ正確な情報伝達が行われていたか など）
- 町の災害対策本部体制、避難計画について
- 国等の対応（オフサイトセンターでの対応）体制、計画について
- 発電所で生じた軽微な事象への対応について（例：原子力発電所構内でのモニタリング数値上昇 など）
- 除染物の防災対策について

この論点（案）は、福島第一・第二原子力発電所の各種作業の進展や、新たに生じた事象等に応じて見直します。実際に各会合で議論する論点は、「町民にとって重要なことは何か」「町民が知りたいことは何か」という観点で、各委員会開催前に決める予定です。

平成28年度第1回櫛葉町原子力施設監視委員会の議事概要は、町のホームページ（<http://www.town.naraha.lg.jp>）でご覧いただけます。